

FM (ファシリティマネジメント) のDX化 (大阪府四條畷市)

取組概要

- ・公共施設をFMの観点から最適化させるため、「FMのDX化」を展開する。
- ・市内での管理・分析を行いつつ、庁外との情報共有・AI・IOT機器との連携を前提にしたプラットフォームを調達し、公共施設管理業務の在り方を変容させる (DX化させる) ことで、**①市民サービスの向上、②業務の自動化・省力化、③コスト削減 (施設総量の最適化)** を目的とした取組みを検討・実装する。

取組の効果

※詳細はエントリーシートに記載します。

- ①市民・事業者：**来庁回数の削減**・手続時間の創出
- ②職員：業務効率化を通じて働き方の見直し (**業務時間の削減**)
- ③市：データ利活用 (見える化) に基づく公共施設等経営の素地
庁舎をはじめとした公共施設総量の最適化 (**床面積の縮小**)

創意・工夫した点

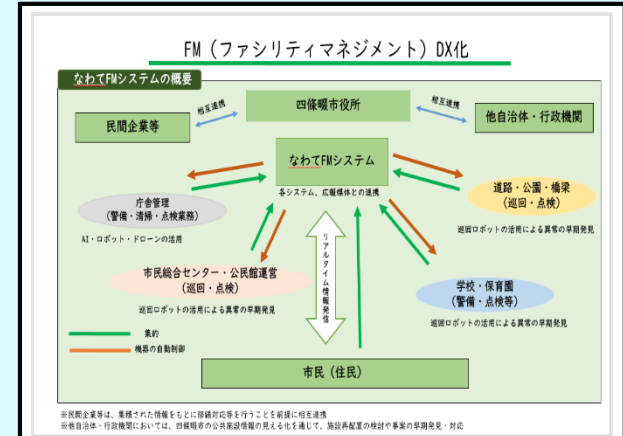
今後官公庁での普及・浸透が予測される**SaaS (クラウドサービス)**を経由して、市民 (事業者) ・職員・市の三者の目線から双方にメリットのある取組としていること

他団体へのアドバイス

「DX」の最大の関門は**市内の合意形成**だと考えています。合意形成にあたって、当市の検討資料をいつでも情報提供させていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

人口54,804人 (R4.3.31現在)

担当課：総務部施設再編課



FM (ファシリティマネジメント) のDX化

